

Book Fan Newsletter

発行:平成25年1月10日

編集:塩尻市立図書館

0263-53-3365

(Book Fan Newsletter 7号)

みなさんと本をつなぐ、『Book Fan Newsletter』の第7号です。

年が明け、気忙しい時期ですが、こんな時にこそ、忙中閑ありのひと時に手にとっ

ていただけるような1冊をご案内できればと願って、今年もさまざまな本を揃えています。

ぜひ、お役立てください。

書店員が選ぶ 今月のおすすめ本

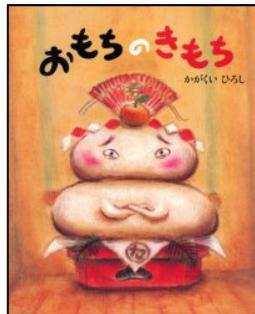


2013年も、書店員
イチオシの本を紹介
させていただきます！
おたのしみに！

『おもちのきもち』

かがくいひろし (作・絵)

講談社 (出版)



おもちが大好きな私ですが、みなさんはおもちのきもちって考えた事ありますか？

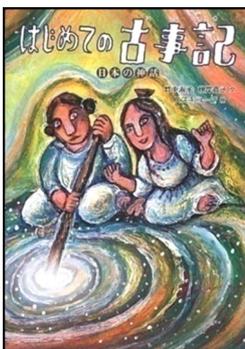
床の間で大事に飾られている鏡もち君が悲惨な状況の仲間たちを見て逃げ出します。脱走シーン

はととてもおもしろく子供たちに大うけ！奇想天外なストーリーや最後のおちは、読んでみてのお楽しみ。

年の初めに読めば、いい一年になりそうな、そんな幸せなきもちになれる本です。

興文堂平田店 降旗さん

『はじめての古事記 —日本の神話—』 竹中淑子・根岸貴子 (著) 徳間書店 (出版)



大昔の日本人のこと、知りたいと思いませんか？

でも、「古事記」を読むのはちょっと…と、思っているあなたにおすすめです。

天地創造から始まる、大昔の日本人がどんな風に考え、感じていたのかを、この「はじめての古事記」は、

やさしくおおらかに伝えてくれます。

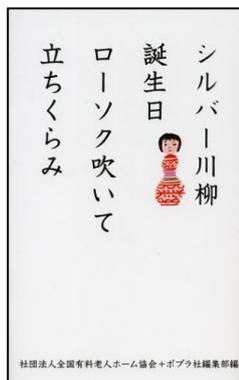
さあ、本を開いてみてください。あなたの心に語りかけてくれると思います。親子で一緒に読んでみてはいかがでしょうか？

中島書店 北原さん

『シルバー川柳』

—誕生日ロウソク吹いて立ちくらみ—

ポプラ社 (出版)



全国有料老人ホーム協会主催の「シルバー川柳」2011・2012年の入選作品を含む傑作選。思わず共感し、思わず笑ってしまう作品ばかり。大きめの活字で作られており、昨年9月の発売からたちまち12万部を突破。

高齢化が叫ばれる現在。

「年をとりたくない」と思うけれど、明るくパワフルに、素敵に年を重ねている人は大勢いる。そう気づかせてくれる1冊です。

丸文書店 金子さん

(書店名五十音順)

図書館職員が選んだ

今月のおすすめ本

『闘病記専門書店の店主が がんになって考えたこと』

星野史雄（著）産経新聞出版（出版）



妻を乳がんで亡くしたことをきっかけに、闘病記専門書店主になった著者自身による大腸がん闘病体験を綴った本です。夫婦それぞれの闘病生活のほか、古書店を開くまでや、集めた闘病記の内容にも触れられており、「自分が病気になったら？」を、考えさせられます。
闘病記担当

『北信州木島平の和算風景』 樋口和雄（著）しなのき書房（出版）

和算とは、日本で独自に発達した数学で、本屋大賞を受賞した『天地明察』にも測量の場面で登場します。専門用語も出てきますが、この本では、木島平で和算を広めた先人達や資料等が紹介されていて、なぜ閉塞的な山間地で和算が広まったのか、背景が見えて面白く読むことができます。



郷土資料分野担当

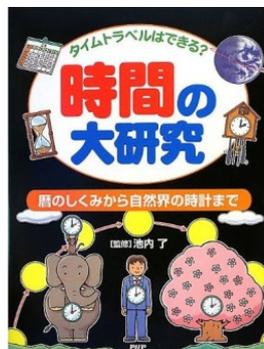
『ゆうかなアイリーン』 ウィリアム・スタイグ（著） セーラー出版（出版）



お屋敷の奥様に頼まれたドレスを、今夜のパーティーに間に合うように届けなくてはならないのに、お母さんが風邪を引いてしまいました。娘のアイリーンは雪の中、お屋敷へ出かけていきます。ところがドレスが風に飛ばされてしまい…。雪の日に読みたくなるお話。

児童絵本担当

『時間の大研究』 PHP研究所（出版）



この本は、当たり前のように流れている時間について、暦や、自然界、宇宙などさまざまな角度から考えていく本です。

「時間」とはいったいどういったものなのでしょう？

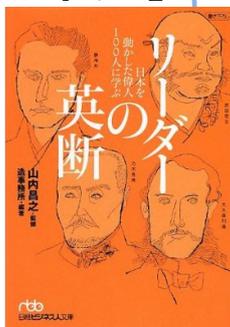
児童科学分野担当

『リーダーの英断 —日本を動かした偉人100人に学ぶ—』

山内昌之（監修）
日本経済新聞出版社（出版）

歴史は、あらゆる決断で動いていると感じられる一冊。

勝海舟はなぜ江戸城無血開城に成功したのか、真田家はなぜ徳川幕府の時代も存続できたのか。決断に関する、100人のリーダーのエピソードが紹介されています。ビジネス書としても。



歴史分野担当

こちらのページの本
は、図書館で借りる
ことができます！

